

# NIE 教育

## 思考力，判断力，表現力を高めるために

呉市立両城中学校 森田 智美

### 1 はじめに

本校は、「自己を認識し，自分の人生を選択し，表現することができる生徒」「お互いを認め合いながら主体的に学ぶ生徒」の育成を目指して教育活動を進めている。実践指定校として2年目の今年度は，新聞を身近なものとして継続して読む習慣を身に付ける取組を実践している。そして，「思考力・判断力・表現力」を更に高めること，社会の出来事を知り，社会への関心を高め，自分なりの意見を持ち自分ごととして考えを深めることを目標に取組を進めている。

### 2 実践内容

#### (1) 新聞記事を紹介しよう

1年生の国語科の授業で，新聞に親しむために，気になる記事を切り抜き，選んだ理由や考えたことをグループで交流した。

#### 記事を選んで



#### グループで交流



～こんなことを考えたよ～

- ☆どんな記事も伝えたいことがあることが分かった。
- ☆新聞は，あまりおもしろくないというイメージだったけど，意外にもおもしろい記事がたくさんあり，これからは新聞を見たいと思います。
- ☆たった1つの記事でも，読者が読みやすいようにたくさんの工夫が凝らされていた。2年の新聞コンクールでは自分でも新聞を作ってみようと思った。
- ☆家では新聞をとってはいないけれど，今後は，おぼあちゃんの家に行ったとき少しでも見られるようにしたいと思います。



#### (2) 記事を比較しよう

国語科の授業で，同じ内容の記事を，複数の新聞社で比べる学習をした。1年生は，新聞のしくみや，地方紙と全国紙の違いを学んだあとで，2社に掲載された「WBCのメンバー12名決定」の記事を読み，違いを考えた。3年生は，3社に掲載された「安倍元首相国葬」の記事を読み比べ，それぞれの新聞社の記事の視点を考えた。

#### 1年生



～こんなことを考えたよ～

- ☆同じ記事を使っているけど，取り上げる内容が少しずつ違っていた。その地域に関係があることを取り上げるんだなと思った。

### 3年生



読売新聞 2022年9月28日 朝刊



中国新聞 2022年9月28日 朝刊



朝日新聞 2022年9月28日 朝刊

#### 個人で



#### グループで



#### 全体で



～こんなことに気付いたよ～

- ☆ 3年生の授業で習った「情報社会を生きる」のように、実際に同じニュースでも情報を伝える人が違うと内容も変わってくるということが分かりました。今後は1つのニュースや記事から得た情報だけでなく、自分も取捨選択をして正しい事実を見つけられるようにしたいです。
- ☆ 新聞記事を読み比べてみると、批判的に読み取れる記事があったりしてとてもおもしろいなと思った。
- ☆ 記事の内容は一緒でも、切り取る視点によって異なる意見が伝えられることが分かりました。各新聞を読み比べて、さまざまな視点からさまざまな意見を知ること大切だと思った
- ☆ 今まで新聞を読み比べる機会がなかった分、深く深く掘り下げて分かる視点の違いが面白かった。見出しの表現や取り扱う写真というちょっとした情報からも伝わってくる内容が違ってくるのが興味深かったし、見出しが本文を大まかに要約しているということに改めて実感できた。
- ☆ 新聞を比較してみると、会社が違うだけで1つの事実に対する捉え方が全く異なり、読み手に与える印象も差があった。やはり新聞を作成しているのは人間で、作っている人が変わるだけで内容が変わってしまうのだと気づいた。このようなことが分かったので、新聞というメディアの利点である情報を入手するという点を上手く活用し、書き手による恣意的な判断とも上手く付き合っていきたい。

### (3) コラムで学ぼう

3年生の国語の授業で、複数の新聞社のコラムの中から気になったものを切り抜き、印象に残った表現や言葉を理由とともに書き、見出しを付け、グループで交流した。



～こんなことに気付いたよ～

- ☆ 最初は天風録とか難しそうと思っていたが、実際読んでみるとその人なりの考え方が書かれていたりして読んでいてとても楽しかった。
- ☆ 見出しは短い文でいちばん伝えたいことを書くので、新聞記事を読み取る力が重要だと思いました。
- ☆ 見出しを付けることが私はすごく苦手だったけれど、内容をきちんと読んでだんだんと要約していくと、コラムに合った見出しを付けることができたのでとてもうれしかった。
- ☆ 新聞を書いている人は、何が伝えたいのか、どう記事の魅力を伝えるだろうかということを考えられるようになりました。たくさんの人に読んでもらうためには、それだけ言葉の引き出しや短い1文にも構成が大切だと学びました。

## (4) 新聞スピーチ

昨年度から、3年生の国語科の授業で、新聞スピーチに取り組んでいる。継続して取り組むことで、思考力や文章表現力が確実に向上している。

～こんなことができるようになったよ～

- ☆新聞スピーチに続けて取り組んだことで、内容の要点をまとめる力が付いた。自分の気になることを、自分からさまざまなメディアを通して取り入れるようになった。
- ☆最初の頃は、文章を書くことが苦手だったけれど、新聞スピーチを続けたことで今はとても簡単に書けるようになった。



- ☆新聞の構成をだいたい理解できるようになった。出だしの文章からおおまかな内容を把握して、そこから深く読み進めていくことで、記事に対する自分の意見を更に固めていく力が付いたと思う。記事の内容を更に簡潔にまとめることで、言葉を選ぶ力や文章推敲する力も身に付いたと思う。

- ☆普段読まない新聞を読むことで、ニュースに対して自分の意見をもって考えることができたことが、自分にとって力になったと思う。
- ☆新聞スピーチに取り組んだことで、言葉の引き出しが増え、さまざまな表現のしかたができるようになった。身に付いた力を生かして、読み手を惹きつけるような文章が書けるようになりたい。
- ☆内容を要約する力が付き、その記事について自分の考えや今後どうすればよいかなどの改善策も考えることができるようになった。

- ☆新聞を読む機会が増えた。今まで目に入って気になったニュースは詳しく見ていたけれど、自分からいろんなニュースを見ることはなかったので、新聞を読むことでもっと社会を知ることができるようになった。
- ☆新聞スピーチをすることで、ある物事に対して一方向からではなく様々な視点から客観的に見られるようになった。また、相手に伝えたいことを簡潔にまとめて話すことができるようになった。授業などの発表する場では、相手に伝わりやすいよう文章の構成などに気を付けていきたい。
- ☆長い文章を読んで、その中から重要な文を抜き出す力や、自分の意見を経験を基に力が身に付いた。初めは要約に時間がかかり何度も書き直していたが、最近では一度で100文字ギリギリまで埋めることができるようになった。また、意見文では、感想文にならないように文末や内容に気を付けながら書くことができるようになった。
- ☆新聞を読むことで、今の世の中がどのように移り変わっているのか把握することができた。今後は、自分で新聞記事を作って他の人と交流し、更にそれに対しての意見を書くなどしてみたい。
- ☆社会の出来事に対する関心が高まったことで、情報に触れる機会が多くなった。そうした中で、メディアの1つである新聞をどのように利用していけばよいのかと考え、いくつかの新聞社の新聞を読み比べるようになった。同じ事実を報道しているのに受ける印象が違っていて、情報が操作されてしまうという危険性も感じた。新聞スピーチをきっかけに、情報社会を生きる身として、メディアとどう付き合っていかなければならないのかについて考えることができた。

## (5) 出前授業

7月と12月に中国新聞社の方に来ていただき、出前授業を行った。7月は、1、2年生を対象に、「新聞コンクールに応募しよう」をテーマに、12月は3年生を対象に、「新聞記事を読んで意見文を書こう」をテーマに行っていただいた。

新聞を読んで  
記事を選んで  
発表!!



～こんなことが分かったよ～

- ☆新聞は多くの人に分かりやすく、伝わりやすく作らないといけないんだなと思った。
- ☆新聞の構成や作り方など、いろいろなことが分かりました。新聞は、作るのにすごく考えて作らないといけないことが分かりました。



### ～こんなことをしていきたい～

- ☆ 文章の形式について、前よりも詳しく知ることができたので、文章がとても書きやすくなったのは、自分のプラスになったと思いました。これからも、少しずつでも新聞などを見たりして、文章を書く力をもっと身に付けていきたいです。
- ☆ テレビで見るとようなニュースに対して、自分と関わりのあることだと考え意見を持つようにしていきたい。
- ☆ 出前授業を通して、意見文を書くための手順が改めて分かった。自分はどの立場なのかをはっきりさせ、その理由に根拠をつけて具体的に書くということを意識して今後は意見文を書いていきたい。

## (6) 新聞コンクールに応募しよう

夏休みの課題として、全校生徒を対象に、中国新聞社の「みんなの新聞コンクール」に応募した。新聞を購読していない生徒もいるため、本中学校区の小学校と連携し、6社の新聞を譲ってもらい、生徒がいつでも読めるようにした。



新聞完成！！



### ～こんなことを考えたよ～

- ☆ 1つのテーマを作って新聞を作るが、枝分かれさせてよりおもしろい新聞にするのが難しいと思った。
- ☆ 同じ話題でも新聞社ごとに取り上げ方が違って、会社ごとにいろいろな特徴があっておもしろかったです。
- ☆ 1つのことを詳しく調べ読み取り考えることで、世界の状況を知ることは大切だと思った。
- ☆ 共通する情報や記事を発見することで、多角的な見方ができるため、1つの問題に対する意見を深めることができた。班員と協力することで、周りの意見に触れることができて良かった。
- ☆ 作品の構成を考える際には、「何を伝えたいか」を軸として効果的な表現や記事の配置を決めた。コンクールへの応募を通して、表現を上達させるだけでなく、調べたものの知識もつけることができた。

## (7) SDGsについて考えよう

朝日新聞の朝日SDGsジャーナルを使って、記事が17のどの目標に関連するのか考えた。1つの目標だけに見えても、いくつかの課題とつながっていることに気づき、多角的に考えていた。



### ～こんなことに気付いたよ～

- ☆ SDGsは大きな目標で自分には関係ないと思っていたけれど、自分たちにもできることがたくさんあると思った。
- ☆ 実際に取り組などの記事を見ることで、SDGsの目標にいくつか当てはまるものがあった。SDGsの目標の中でも自分と深く関連しているものがあると知って、身近なことをするのもこの取り組みがどのような面でSDGsの目標の達成につながっているのか、普段から考えていこうと思った。

## (8) ヤングスポットに投稿しよう

昨年度に引き続き、学年や教科で、行事や学習内容について自分の意見を書き、ヤングスポットに投稿した。昨年度18名、今年度は現時点で19名掲載された。掲載された生徒の投稿文はコピーして校長室前に掲示するとともに、各クラスにも掲示し、全生徒が読めるようにしている。



～こんなことを学んだよ～

- ☆ 出来事を書くだけの日記のような文章を書くのではなく、その出来事を通して自分がどう成長できたか、自分がどう感じたかを書くことが大切だと学んだ。
- ☆ 自分が学習したことについて改めて深く掘り下げることで、見聞きしたこと、学んだことなど言いたいことを自分の言葉で上手にまとめられる力が身に付いた。
- ☆ 日常生活の中で経験した自分の感情を上手く言葉にすることは「難しかったけれど、そうすることで、その経験が自分の中で消えないものになった。
- ☆ ただ事実と感想を書くだけでなく、その経験を通して自分はどのように変わったのかなど、自分を見つめ直して書くということも大切なんだと知ることができた。
- ☆ 読み手に伝わりやすいように、どんな内容をどういった構成でまとめるとよいか、と考える力が身に付いたと思う。1つの出来事に自分の気持ちや経験を絡めて、深く掘り下げることで印象的な文章になることを学んだ。

## (9) 委員会

図書委員会では各学年でテーマを決め、新聞作りに取り組んだ。1年生は図書室の紹介を、2年生はお薦めの本の紹介や、本の歴史や読書の意義を、3年生は読書意識について、それぞれ何をどのように書くか工夫しながら分かりやすく新聞にまとめた。

先生のお薦めの本は？



どんな新聞にしようかな



新聞が完成したよ!!



～こんなことを思ったよ～

- ☆ 新聞は区切られているので、どこに何があるかが分かりまとめやすかった。
- ☆ 図書室の案内を書くときに1つ1つにお薦めの本を書いて本を選びやすくなった。新聞の形にしたことで、読みやすく利用者も増えると思った。
- ☆ 新聞を読むことがなかったので、これをきっかけにしっかり読んでおこうと思った。

図書室って

読書意識が高いのは？

どんなところ？



お薦めの本は？

いつでも

新聞が

読めるよ



### 3 おわりに

実践指定校として2年目の今年度は、昨年度の取組に加え、新たな実践も行った。継続して取り組むことで、思考力、判断力、表現力が向上している。社会に目を向け、今起こっていることに対して自分の意見を持ち、課題解決に向けてどのようにしたらよいのかを考えることができるようになってきた。さまざまな出来事を多角的に見て関連させて考えるようになってきた。今後もNIEの活動を推進し、思考力・判断力・表現力の更なる向上と、社会への関心を高め、主体的に考え行動する生徒の育成に向けて取り組んでいきたい。